

景況実感調査(2015年2月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 1月以降、荷動きが悪い。建築関係は安価で改善のきざしが無い。
- ② 表面処理鋼板においては、踏ん張っていた価格もじりじりと下がり始めている。海外材の価格対応も気になるところ。建材需要は決して悪くないが、末端の定尺販売の荷動きは低調が続く。
- ③ 営業日数は1月と同数ながら、稼働日は1～2日増加しているにもかかわらず売上、数量ともに1月を下回った。出入りの運送業者にもヒアリングしてみたが、少し前よりトラック不足(運転手不足)によるタイト感は緩和されてきているようだ。原料、エネルギー価格の下落傾向が足下急激な上昇に転じる気配も無く、市況は先安を見越して弱含み。期末在庫圧縮とも重なり、荷動きは悪化したままの決算となりそう。メーカーの姿勢のみが市況を支えているが、決算がらみと見られる安値も散見される。株高だけが報道されるが、その先見性に期待し、需要の回復を待っている。

中板

- ① 採算を考えると踏ん張りどころではあるが、荷動きの低迷が長すぎる結果、安値提示が散見され、相場に先安観が出てきた。
- ② 建築に大型物件は有るが、店売りに関わる中小案件が少ない。年度末に向けても状況は変わらないだろう。

厚板

- ① セグメントの引き合いが活発になっている。しかし、建機産機は年度末で在庫調整のため激減。建築の大型物件は有るが中小の物件は少ない。

—舟型鋼

- ① 現在は踊り場。今後は5、6月にオリンピック関連が出て来るのではないかと。
- ② 土木、建築関連の仮設材、補修材と思われる小口だが幅広い出荷に支えられて、1月比やや持ち直したと思われる。当然、来月もこの動きは継続すると思うが、新年度入りした4月以降の所謂第1四半期には例年の如く反動が予想される。だが、前年の消費税がらみの反動までは落ち込まないのではないかと。

工型鋼

- ① 前月と同様に稼働日数が少ないが、荷動き自体は悪くない。継続の案件に動きはあるが、目先の新規案件は少ないようなので、若干販価は弱含み。ただし、販価を下げて出荷量は増えないと思われるため、現状維持に努める。
- ② 市況への先安観が強くなってきている。しかし、2月の落ち込みは例年通りであり、メーカー対応に大きな変化はない。新年度以降の状況を想像した先走りの結果であると思われる。ここは冷静になる必要がある。

異形棒鋼

- ① スクラップ価格の下落(▲3.0)にもかかわらず、メーカーは建築物件に対して価格維持方針をとっている。(土木向けは別) 流通はユーザーからの安値要求もあって厳しい立場にあり、採算はさらに悪化している。
- ② 店売りの荷動きに関しては、2月初めは動きがあったが後半から3月にかけて動きは良くない。明細は細かく、単価は横這い。

平鋼

- ① 荷動きは悪いまま横ばいで推移。依然として建築土木関係の引合いは低調。スクラップ価格は地区によってバラツキはあるものの上昇の気配はなく、動きも悪いことから先安観が漂い在庫意欲も減少。建築需要は春以降に動きが出て来るか。

軽量開形鋼

- ① 例年、2月は売上(出荷)が年間で底であるが、今年は特に落ち込みが大きい感がある。全体としては昨年並みとの営業情報であるが、現状を鑑みるとやや不安がある。

鋼管

- ① 1月に比べてやや持ち直すも、前年比で横這いの状況。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品はメーカーによってバラツキがあるが、全体的に減速傾向となっている。建設機械関連については、大型機種は不透明な状況にある。また、中小型も調整局面となっており、4月以降も不透明な状況にある。一般産機・工作機関関連は比較的堅調に推移している。店売りの荷動きは若干低下した状態で推移している。市況については変化なく、横這いで推移している。
- ② 前月に比べて店売りに関してはやや減だが、紐付きについては増加した分、全体的には悪くないようではあるが、継続性に関しては厳しい状況に変わりなく、価格も弱い。

鋼材—舟安

- ① 少しだけまとまった数量が出るようになったが、とても好況感があるとは言えない。正直、3月需要が無いと今季の目標から大きく乖離する。

その他

<曲げ加工>

- ① 先月は昨年同期と比較して横這い状態である。また、設備投資等も動いていない状況であり、鉄全体が動いていないように思われる。3月末の決算時期でもあり、仕事そのものが出てよいはずだが、いま一つ思わしくない。現在、曲げに関して大きなプロジェクトが無いのが暇な原因か。

<スクラップ>

- ① 世間の状況を知りたい。
- ② スクラップに関してはプラスになる要因は無く、相変わらずジリジリと下がり続けている。

<金属表面処理加工>

- ① 2月は紐付き、物件物とも計画通り。スポットの扱いは前半低調であったが、後半まとまった物量を含め高いレベルでの処理量となった。3月も高操業で計画しているが、年度末でもあり、メーカーからの強制出荷が予想されることと、機械リプレースの間(4~6月)のライン停止を控え前倒し加工を計画しており、通常月以上の高操業を予想。